



君津児童相談所  
川前 壽美子  
平成29年度入庁  
保育士

## Q1 現在はどんな仕事をしていますか。また、現在の仕事のやりがいや魅力、印象に残っていることなどを教えてください。

一時保護所では、様々な事情により家庭で生活することが難しい1歳～18歳までの子どもの保育を行っています。食事や遊び、寝かしつけなど家庭で当たり前のように行っていることを、職員が子どもと共に生活しながら支援しています。

また、子どもだけで外出できないため、遠足やクリスマス会などの行事も行っていますが、そうした場面で子どもたちの新たな一面を見られることが、この仕事の魅力だと思います。

## Q2 千葉県を志望した理由を教えてください。

大学生の時に、児童養護施設の富浦学園で実習を経験したことで、自身の保育に対しての視野が広がりました。そこから、保育園や幼稚園ではなく、児童相談所や児童養護施設の仕事に興味を持ち、働いてみたいと思うようになりました。

1年間は民間の児童養護施設で勤務をしていたのですが、勤務をしていく中で、もっと様々な子どもたちと関わり、保育を行ってみたいと強く感じるようになりました。

また、千葉県で生まれ育ったこともあり、千葉県の保育士になりたいと思い、志望しました。

## Q3 「保育士」として働く上で、心がけていることや大切なことは何ですか？

保育園や幼稚園とは違い、児童相談所では幼児までの保育ではなく、小学生や中高生の保育も行います。年齢やその子どもの特性によって関わり方は千差万別です。その子ども一人ひとりにあった関わりを意識して保育を行っています。

## Q 4 今後どのように働いていきたいですか。目標や、取り組んでみたい仕事など教えてください。

一時保護所は児童養護施設と違い、長い期間過ごす場所ではありません。子どもと一緒に生活を送るからこそ、子ども一人ひとりのありのままの姿を受け止めつつ、その子どもにとってよりよい関わりができるようになっていきたいと思っています。

子どもが安心して過ごせるように、そして大人に対して少しでも信頼感が持てるようになるために、一時保護所の中では、子どもたちに「ここにあなたの居場所があるよ」、「子どもらしく安心して過ごしていいよ」というメッセージを送っていきたいです。

## Q 5 受験生へ一言

仕事をする上で大変なこともあります。子どもと関わるのは楽しく、やりがいのある仕事です。一緒に働けるのを楽しみにしています。



### 異動経歴

H29年採用 君津児童相談所

